

STOP児童虐待

いちはやく
～189 知らせて守る こどもの未来～

11月は児童虐待防止推進月間です

「親に殴られた」「親にひどいことを言われた」「親が外出ばかりしていて食事の用意や身の回りの世話をしてもらえない」
こうした児童虐待により、つらい思いをしたり、けがをしたり、命を落とす子どもが後を絶ちません。

130

(平成29年度)



247

(平成30年度)



329

(令和元年度)

この数字は
何か分かりますか？

多摩市子ども家庭支援センターに寄せられた児童虐待に関する1年間の新規相談件数です。児童虐待の予防には、地域社会での取り組みが大切です。周囲の子どもたちに関心を持ち、社会全体で子育て家庭を見守り、応援していきましょう。

▶問い合わせ 子ども家庭支援センター(相談専用ダイヤル)  (355) 3777、 (355) 3433

これってまさか!? 児童虐待ですか？

身体的虐待

- 叩く・殴る・蹴る
- タバコの火を押しつける
- 戸外へ締め出す など

ネグレクト

- 食事を与えない
- 病気なのに医師に見せない
- 同居人による虐待の放置 など

心理的虐待

- 無視・拒否的な態度をとる
- 言葉による脅かし
- 子どもの目の前でDVや夫婦げんか など


性的虐待

- わいせつな行為
- 性器や性交を見せる
- ポルノグラフィーの被写体にする など


「虐待かな」と思ったらいずれかへ連絡してください。あなたの電話1本で、救われる子どもがいます

●多摩市子ども家庭支援センター

相談専用ダイヤル

 (355) 3777

●東京都多摩児童相談所

 (372) 5600

●児童相談所虐待対応ダイヤル(24時間対応)

いちはやく
 189

※連絡(通告)は支援の始まりです。通告は匿名でも受け付け、
通告した方の秘密は守られます。ご協力をお願いします

子育て中のママ・パパ・保護者の方へ

「新型コロナウイルス感染症の影響で子どもと家にいる時間が増え、イライラすることが多くなった。このやり場のない気持ちをどうしたらいいのだろう」と思ったことはありませんか。あなたの気持ちを話していただだけませんか。あなたの電話を待っています。

子どもが泣き続け
てイライラ




言うことを聞いてく
なくて叩いてしまった



子どもをかわい
いと思えない



子育てが上手いか
ず自分を責めてしまう

身近な相談窓口です！ あなたと一緒に考えます。
子ども家庭支援センター相談専用ダイヤル  (355) 3777
に相談してください。

地域の皆さんへ

在宅ワークになり、日中家にいたら普段は気にならない泣き声、怒鳴り声が聞こえてきた…。これって…。
気づいてほしい —。子どもと保護者のSOS。

あの子、いつも服が
汚れていて心配



夜中に子ども一人で
公園にいる



子どもの泣き叫ぶ声
や子どもを怒鳴る声
が頻繁に聞こえる

ご飯を食べさせてもら
えていないようだ

困っているかもしれない親子を見つけた時は、子ども
家庭支援センターなどへ連絡・相談してください。あな
たの連絡が支援へとつながるきっかけになります。

なや 悩んでいる子どもたちへ

叩かれたり・怒鳴られたり・つらい思いをしていたら、電話
で相談してください。あなたの
安全を守ります。

子ども家庭支援センター
相談専用ダイヤル

 (355) 3777



○11月6日(金)に、児童虐待防止推進月間啓発講演会「怒りたくないの
に怒ってしまう、親子が笑顔でいるために」開催
※詳細はたま広報令和2年10月5日号B面を参照

○啓発・展示

市役所1階ロビー、永山公民館、図書館本館、地域子
育て支援拠点などで、児童虐待防止に関する企画展示を
実施しています。

▷主な展示期間 市役所1階ロビー=11月4日(水)まで

永山公民館=10月21日(水)~11月11日(水)

※施設により展示期間が異なります。詳細は公式ホームページ参照

